

若狭国・越前国の初期郵便印 記番印

山崎 文雄 (S-133659・福井)

記番印(記号入り番号印)は明治7年12月に若狭国では5局に配備され、「サ第壹号」(小濱局)~「サ第五号」(熊川局)で、収集においては、「サ第壹号」印以外は極めて収集が難しい局が多い。「サ第六号」印が若狭・早瀬局に配備される予定であったが、配備されることなく、幻に終わった。

一方、越前国は9局に配備された。「キ第壹号」(敦賀局)~「キ第九号」(疋田)である。敦賀から北へ上る番号の配備であるが、どう言う訳か、「キ第九号」(疋田)だけが、南に下がっての番号付けとなった。これらの記番印は明治9年3月まで使用され、その後は二重丸印の抹消印に切り替えられた。「キ第貳号」(今荘局)、「キ第四号」(大野局)、「キ第五号」(勝山局)、「キ第八号」(金津局)および「キ第九号」(疋田局)が難物である。

なお、「キ第三号」(武生局)および「キ第七号」(阪井港局)の記番印は明治12年頃まで使用された。単片では全種を揃えて展示する。

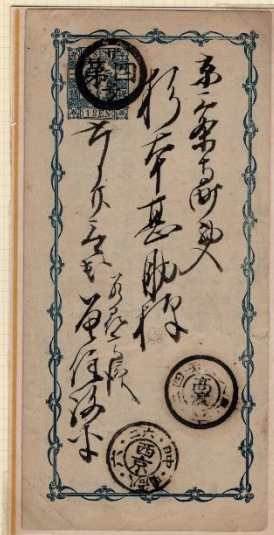
若狭国・越前国の郵便印

記番印

サ第四号

高濱

縮なし1銭葉書(カナ不明)



小型かななし1銭葉書使用



抹消印 記番印 サ第四号 高濱
証示印 高濱 KG 明治9年5月2日
到着印 京都 N;B; 明治9年5月5日 日中

抹消印 記番印 サ第四号 高濱
証示印 高濱 KG 明治8年6月24日
到着印 西京 N;B; 明治8年6月26日 日中

若狭国・越前国の郵便印

記番印

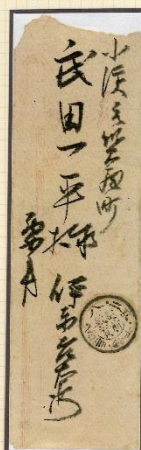
キ第壹号

敦賀

洋紙改色カナ無し(ブッチ) 茶1銭ヘア貼第一種使用



表面 80%縮小コピー



抹消印 記番印 キ第壹号 敦賀
証示印 敦賀 N;B;K 明治8年8月25日午後
到着印 小濱 KG 明治8年8月26日

キ第壹号(敦賀)のブッチ1銭の唯一の使用例

若狭国・越前国の郵便印

記番印

キ第貳号

今荘

洋紙カナ入り茶1銭
カナ(カ)ヘア貼
第1種使用

表面 75%縮小コピー



抹消印 記番印 キ第貳号 今荘
証示印 今荘 KG 明治8年8月25日
到着印 福井 N;K 明治8年8月25日

今荘の記番印(キ第貳号)の使用例は極めて希少で、エンタニアは本事例以外の報告なし